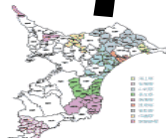


隊友千葉だより



千葉県隊友会事務局
事務所開所時間
月・水・金
10:00~15:00

在葉部隊指揮官 ご挨拶

千葉県隊友会の皆様におかれましては、平素より陸上自衛隊第一空挺団に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨今の我が国周辺の安全保障環境は戦後、最も厳しくかつ複雑なものとなっております。「ロシア」は、一方的に自国の安全保障上の目的を達成するためには軍事力に訴えることを辞さず、核兵器による威嚇ともとれる言動を繰り返しています。また、「中国」は、尖閣諸島を含む東シナ海、南シナ海における力による一方的な現状変更を試みており、併せて、「北朝鮮」は、過去に例を見ない頻度での弾道ミサイルの発射等を繰り返して核戦力を質的・量的に最大限のスピードで強化するとの方針であり、我が国が位置するインド・太平洋地域の安全保障環境は、将来、更に深刻さを増す可能性があります。これらの環境を踏まえ、第一空挺団は米空軍機からの降下訓練をはじめ、英国及び米国※との共同訓練や令和五年降下訓練始めて実施した米・英・豪（いわゆるAUKUS）の空挺部隊との共同訓練等により、島嶼部における空挺作戦及びインド太平洋地域の平和と安定に資する対処力・抑止力の強化を図っております。



陸上自衛隊第1空挺団長
陸将補 若松 純也

また、国内においても、首都直下地震及び南海トラフ地震等の大規模災害に加え、世界的な気象変動による気象災害の激甚化に備えるとともに、今年の一月には匠瑛市鳥インフルエンザ発生に伴う災害派遣にも従事しました。

国民の皆様が我々に求める期待は「あらゆる事態に即応し、どのような状況であれ与えられる任務は必ず成し遂げる。」ことです。我々は、空挺精神の一文にある「たとえ最後の一人となっても任務達成に邁進しなければならぬ。」を実践すべく「挺進赴難」の気概をもって今後も任務に邁進して参ります。

終わりに、千葉県隊友会の皆様には、引き続き第一空挺団へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※尼国：インドネシア

挺進赴難

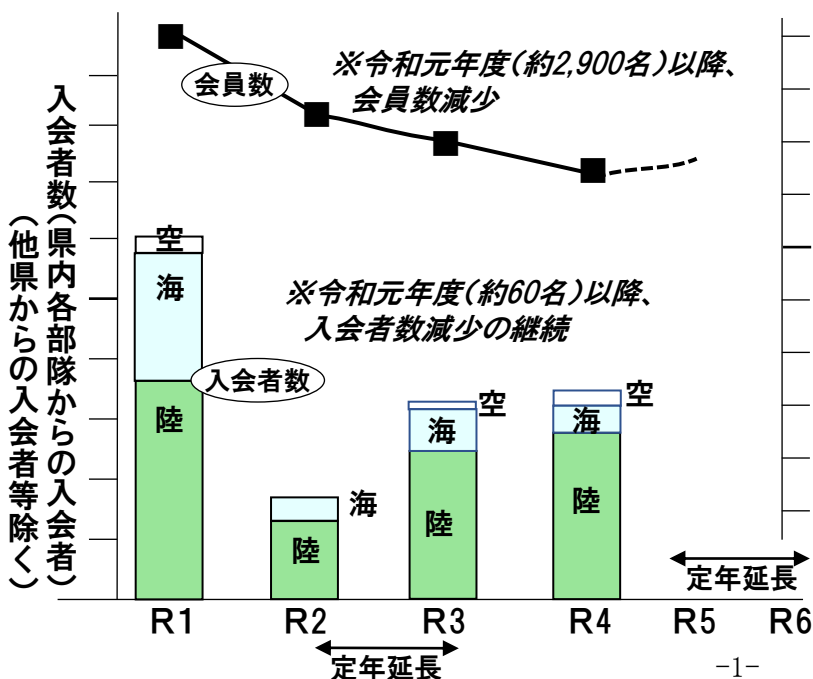
令和五年度

「前期支部長会議」開催

県は、七月一日 千葉市民会館において「令和五年度前期支部長会議」を開催した。前段は事務局からの連絡、後段は隊友会本部藤井事務局長から「令和五年度新たな取り組み」と題してブリーフィングをいただきました。

事務局からは、特に会勢減少および入会者数低迷の継続について説明し、令和五年度十月～六年度に再度予定されている自衛官の定年延長を踏まえ、入会者獲得について更なる協力をお願いしました。（左記グラフ参照）

千葉県隊友会の会員数・入会者数の状況



【寄稿】

鳥インフルエンザと

災害派遣

副会長 田中 誠一

平成15年9月、浜田靖一衆議院議員は防衛副長官に着任、防衛庁長官は石破茂衆議院議員である。

石破長官と浜田副長官は、「自ら志願し、職務の宣誓を行っている自衛官は国の宝であり、自衛隊は国民の財産」であるとし、「サービスの宣誓」のコピーを何時も携行されていた。

平成16年3月、京都府において発生した鳥インフルエンザは、発生したのが25万羽という大規模養鶏場であることや、当初、農場の経営者が届出を行わず、更に事態の隠へいを図る等し、更に隣県に波及するという事態を招き、国民の恐怖心をあおり、マスコミの報道合戦も熱を帯びたものになった。

鳥の殺処分や埋却処理は、当該農場、自治体だけではなく、近隣自治体や各府県からの応援に加え、日本で初めて自衛隊に出動が要請され、ようやく処理が終了した。

災害派遣は、自然災害に伴う人命救助・被災者支援等にとどまらず多様化しているところではあったが、家畜伝染病対策を実施する都道府県からの要請による殺処分、埋却処理を災害派遣と位置付けることができるか否かは疑問のあるところであった。

災害派遣の三要件（①緊急性②公共性③非代替性）を総合的に勘案し判断されるものである。常に「職務の宣誓」を念頭に置く石破長官と浜田副長官は、「殺処分、埋却処理」を「自衛隊の任務として自衛官に命令」してもいいものなのかについて大臣室で二人きりで悩みながらも「国民の安心、安全」のため、苦渋の決断をされた。

のべ約2,000名の隊員が災害派遣に従事し、全ての任務が完了したのち、石破長官、浜田副長官が相談され、浜田副長官から任務を遂行された指揮官に直接電話で「ありがとう。今般の任務は本来任務ではないが国民の安心のために「命令」した。本当に感謝する」旨を伝えた。石破長官、浜田副長官にとっては辛い決断だった。



鳥インフルエンザ災害派遣 (防衛省HPより)



◆ちよつと一服◆

今年9月1日「防災の日」は、「関東大震災発災」から百年目の節目の日ですね。各地で防災訓練が行われ、自衛隊をはじめ、隊友会からも多くの方々が参加されます。諸先輩には釈迦に説法ですが、我が家の防災について、少し紹介させて下さい。

私が好きなスキー・キャンプなどの趣味、防災にも一役買っているのが「キャンピングカー」です。いわゆる「キャブコン」と呼ばれるこのタイプは、就寝・収納スペースはもとより、水、電源、トイレなど「自己完結能力」を備えた「別荘・避難シェルター」として、大活躍してくれています。最近は一千万円を超える高級車もありますが、お手軽な中古車や軽自動車のキャンピングカーもあります。また、自家用車やご自宅の空きスペースに、非常持出品とともに、飲料水やカップ麺、簡易トイレなどを備えるのも一案ですね。

最近、ポータブル電源を購入しましたが、「有事の備えは平時から」を忘れず、出来るところから少しずつ、防災にも万全を期したいと考えております。

県理事役 梁池 雅彦



大活躍！我が家のキャンピングカー

◆松戸支部◆

前言

松戸支部長より、松戸市、松戸駐屯地、松戸支部活動を紹介し、抱負を述べます。

松戸市

松戸市は、都心から20kmで、江戸川を境に東京に接し、首都圏ベッドタウンとして発展を続け、日本の市の人口順位において非政令指定都市で最多を有します。古くは江戸時代、江戸から水戸を結ぶ水戸街道の宿場町として栄え、徳川家との関りが深い土地です。また、江戸川の水運を活かし河岸が置かれ、その賑わいもあつたように、総じて、交通上の要衝としての歴史の歩みがあります。名所は、アジサイ寺の本土寺、戸定邸、矢切の渡し、など、著名人は、小泉悠さん（ロシア軍事専門家）、那須川天心さん（キックボクシング、総合格闘技）、須崎優衣さん（レスリング）、松戸支部員の娘さんの山崎直子さん（宇宙飛行士）など、美味しいものは、洋食English Pub、パン屋Nop、など、ラーメンは、とみ田、兎に角、とら食堂など激戦です。なお、旧軍との関係では、松戸駅付近、現在の松戸中央公園は、陸軍工兵学校跡地であり、更にそれ以前は、松戸競馬場があり、陸軍工兵学校の開設に伴い、中山競馬場に移転しています。

松戸駐屯地

松戸駐屯地は、昭和27年開設され、需品学校、関東補給処松戸支処、第2高射特科群が所在し、陸自兵站、首都圏防空の中核の役割を担っています。戦前は、駐屯地

を含め、八柱霊園まで広大な地域が、松戸飛行場であり、複数の飛行部隊が所在していました。当時使用していた、格納庫の一部は、頑丈で、今もって倉庫として使用されています。正門から一直線に続き空に向かい勢いよく茂る銀杏並木、新京成電鉄車窓からも鑑賞できる桜並木がとても綺麗で、落下傘整備工場、野草園、被服等個人装備等展示する史料館など特色ある施設を有するとともに、古くは、鼓笛隊が女子職員の方々に組織されていた時期があり、松戸・千葉のみならず、全国イベントにおいて活躍していたようです。また、需品学校は多くの学生を受け入れ、第2高射特科群は新隊員教育を担任しており、活気に満ちた駐屯地です。

松戸支部活動

支部員の特徴としては、陸自需品職種の方が多く、また、首都圏ベッドタウンの特性からか、高位で退官された方も在籍されています。活動を大別すると、①家族支援、災害情報協力者の指定、②訓練参加、ボランティア支援、③懇親会、となります。どの支部も共通だと思いますが、年齢、体調、就労状況等の事情があり、私、支部長自身も含め、工夫・調整しながら、対応に取り組んでいます。よって、年に2回予定の、懇親会を通じ、一人一人の素晴らしさ、また、活動への協力意思とその可能性・程度をよく掌握させていただき、基盤を強くしていくことが最も大切だと感じております。

6月3日(土)に、支部総会・懇親会を実施しました。八十歳代半ばから五十歳代まで、女性も含め、いつも温かい時間を過ごしております。お互いの人柄、事情等への相互理解を、



令和5年度松戸支部総会・懇親会

その都度、深めている印象で、毎回、次は誰としっかり話そうかなど、考えております。当日の懇親会写真を添付します。

結びに

支部長としての抱負ですが、前述した、懇親会を通じた基盤強化を通じ、現職への貢献を図るのは勿論ですが、何より、防衛省・自衛隊で勤務し、国に貢献された方々が、時に集い、思い出の交換をし、近況を伝えあい、皆さんが里帰りをするような居場所を、松戸支部の皆さんと一緒に作っていきたいと思っています。先輩方に孝行し、これから退官を迎える、世代の近い後輩を温かく迎えらるよう努めて参ります。今後とも、松戸支部、よろしくお願いたします。

松戸支部長 中川 博英

◆佐倉支部◆

佐倉支部は、明治七年に陸軍歩兵第二連隊が佐倉城址に駐屯し、同十年の西南の役に出動したことに始まる佐倉連隊の地である佐倉市と隣接する酒々井町の一市一町で構成され、現在六十九名が在籍しています。私の原隊は木更津駐屯地第一ヘリコプター団で、現在は予備自衛官をしつつ野生生物の調査や有害鳥獣駆除の仕事をし、カミツキガメの捕獲の仕事を一年の三分の一、佐倉市で過ごしていたため、こちらに居を移し、瞬く間に十三年もの月日が流れました。

約十年前に前支部長が体調不良のため退かれ、私が代わって拝命いたしました。初めての事ばかりで他の支部長や理事にご指導いただき、いよいよこれから本格的に活動を行うという時に新型コロナウイルスが蔓延し、活動が滞ってしまいました。あれから三年が経ち、少しずつ活動が出来る範囲が広がってききましたので、念願であった支部総会などの会合を行っていきたいと思います。佐倉市役所敷地内にあります戦没者慰霊塔の清掃活動も、遺族会のお手伝いとして定期的に行っております。また、予備自衛官・公募予備自衛官同士の交流や活動を希望する会員もおりますので、支部の分け隔てなくこちらの方も機会を設けたいと考えております。同じ地域の会員同士が折に触れ親交を深めることで気持ち盛り上がり、延いては支部及び地域のさらなる発展につながることを期待しています。

また、個人は狩猟免許を有していて、千葉県隊友会にも千葉県より有害鳥獣駆除

六月十九日(月)、菊地会長以下四名で、若松第一空挺団長(習志野駐屯地)へ新着任のご挨拶に伺いました。この際、空挺団・習志野駐屯地と県隊友会の連携、千葉だよりへの投稿依頼を併せて行っております。

なお、若松団長のご挨拶につきましては、本紙に詳しく掲載しておりますのでご覧ください。

同行者：大根県本部事務局長、岡本習志野支部事務局長、梁池理事役。(担当：梁池)

の活動を行う会員を募集する依頼があります。初心者や資格のない方でも興味がある方はアドバイスなど出来ますので、私までご連絡いただければ幸いです。

佐倉支部長 森田 悦朗



美しい佐倉の風景
と
カミツキガメ

【支部紹介記事の掲載予定】

『千葉だより』の支部紹介の予定は、次の通りです。楽しみにして、お待ち下さい。

- ◎1月号：鎌ヶ谷支部、香取支部
- ◎3月号：我孫子支部、緑支部



左から、梁池理事役 菊地会長 大根事務局長 岡本船橋支部事務局長

第1空挺団へのご挨拶

【千葉県隊友会事務局】
 〒260-0042
 千葉市中央区椿森1丁目26-9
 コンラッドビル4階
 電話：043-306-2095
 F A X：043-306-2096
 Eメール
chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp
 ホームページ
<http://www.chibataiyuu.com/>

「千葉だより」令和5年9月号編集担当
 県本部理事役 梁池 雅彦